

公開教育講演会のお知らせ

AI時代に大切な算数・ 数学力を伸ばす育て方

参加費
無料



今の子供達が大人になる頃、人工知能が人間に取って代わる時代が到来すると言われていています。このような中、算数・数学を通して学ぶ物事の考え方や力はますます大切な能力となってきます。

講師の芳沢光雄先生は、算数や数学は苦手と思われる方にも分かりやすくお話しくださいます。小学校、中学校、高等学校などの保護者向け、教員向け講演会に講師として招かれ、大変好評です。また講演会場は、乳幼児の同伴も差し支えありません。ふるってご参加ください。

日時 2018年6月20日(水) 10:45～11:45 **定員**80人 聴講希望の方は当日直接会場にお越しください。

場所 桜美林大学 荊冠堂(けいかんどう)チャペル地階ホール 町田市常盤町3758

1. 創造力を育む試行錯誤の学び
2. 立体図形のセンスを育む昔ながらの玩具
3. YES・NO型質問でなく説明させる質問を
4. 1、2、3、・・・という数の教えで大切なこと
5. 計算も文章題もスピードアップは最後の仕上げ
6. やり方の暗記よりプロセスの理解を
7. 分からない問題は少し考えるようにすること
8. 自信をもつと落ち着いて考えられる
9. 何事も見直しの習慣を身に付けよう
10. 身近な題材による応用例が興味・関心を高める
11. 「すべて」と「ある」の言葉遣いを大切に
12. 「3」の発想によって物事は繋がる

講師 桜美林大学教授 芳沢光雄 先生



1953年東京生まれ。小学校から高校まで慶應義塾で学び、学習院大学理学部数学科卒業
1980年に理学博士号取得。慶應義塾大学商学部助教授、城西大学理学部教授、東京理科大学理学部(理学研究科)教授を経て、2007年より桜美林大学リベラルアーツ学群教授。国家公務員採用I種試験専門委員(判断・数的推理分野)、日本学術会議第4部数学研究連絡委員会委員、「教科書の改善・充実に関する研究」専門家会議委員(文部科学省委嘱)なども歴任した。
著書として、『算数が好きになる本』(児童書 講談社)、『リベラルアーツの学び』(岩波ジュニア新書)、『かしこい人は算数で考える』(日経プレミアシリーズ)、『数学的思考法』、『算数・数学が得意になる本』(ともに講談社現代新書)、『新体系・高校(中学)数学の教科書(上・下)』、『群論入門』(ともに講談社ブルーバックス)、『今度こそわかるガロア理論』(講談社)など多数

問い合わせ

042-797-0796 (平日:10:00～18:00)

当日のご来場はスクールバスまたは公共交通機関をご利用ください。

主催: 桜美林幼稚園

協力: 桜美林大学